

Alma Mater

白陵

第 6 号

昭和63年 3月10日発行
発行 白陵会

〒676

高砂市阿弥陀町阿弥陀2260

TEL. 0794 (47) 1675 (代)



学園創立二十五周年

同窓会の皆さんお元気ですか。だんだん春めいてきました。若さ一杯頑張っておられることと思います。さて月日が経つのは本当に早いもので、我が母校も今年で創立二十五周年を迎えました。卒業以来白陵に一度も来られたことのない皆さんも多勢おられることと思います。皆さんの思い出の中の白陵はどんなものでしょうか。今や白陵は武道館、白陵会館等立派な施設も整い、又学園道路の樺の並木も高く枝葉をのびし、巨木の風格さえ備えて見えます。二十五年前のプレハブ校舎当時を知っておられる方にとっては本当に感慨無量といえるのではないのでしょうか。

今後、創立五十周年、百周年を迎える頃には白陵卒業生も日本のトップリーダーとして多数活躍されているに違いありません。我々同窓生も明日の白陵のために、頑張っていこうではありませんか。

創立二十五周年記念事業

管理棟校舎新築工事概要

当学園では二十五周年記念事業として本年度、管理棟校舎新築を計画しております。ここに一部概要を御報告します。

(建築位置)

本館校舎と別館校舎の中間前方に位置します。地階は三角公園から建ち上り、保健室には救急車などが横づけできるように工夫されています。

(床面積)

地階 二五六・〇〇㎡ 一階 五五八・八〇㎡

二階 八〇七・六五㎡ PH階 二四・〇〇㎡

計 一、八四六・四五㎡

(主たる用途)

地階…保健室(現在の二倍に拡張し健康管理の推進)

多目的ホール(小集会、学年単位保護者会、

集団検診等多目的に利用)

一階…理事長室、事務室、小会議室、玄関ホール、

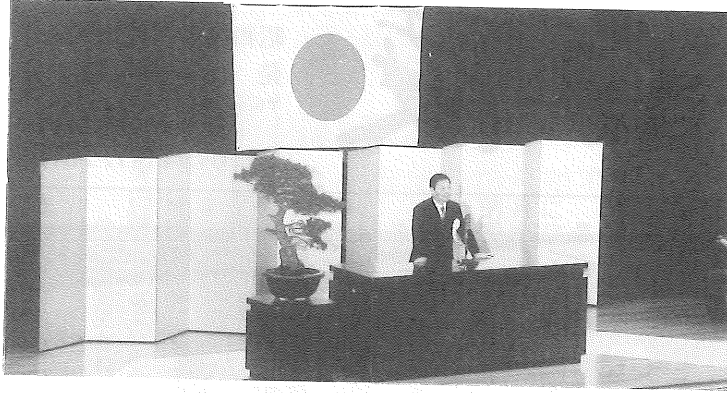
生徒昇降口

二階…校長室、職員室、資料室、進路指導室、

〇A室

学園創立記念式典特集

暖冬で、今年はまだ冬が過ぎ去り、春になってしまおうのではないかと思っ
ていると、急に冷たい風が吹き荒れ、
めっきりと冬らしくなったり、季節の
いたずらに四苦八苦の今日今頃ですが
会員の皆様はいかがお過ごしですか。



わが白陵も愈々四半世紀の歴史を刻み、猛烈なる躍進を続け、今や三千四百余名もの卒業生を世に放ち、社会のあらゆる職場で活躍し、又、勉学に励んでおります。

白陵創立二十五周年を迎えるに当り、今思い出されるのは二十周年記念パーティーで、亡き園長先生あの満面にあふれた笑顔に大声で歌った寮歌、同窓生にかけられた色々のアドバイスや激励の言葉です。早いものでもうあれから五年経ちました。創立二十五周年を祝し、学園では去る十一月九日の学校創立記念日に記念式典並びに講演会、二十一日には記念演奏会と多彩な催しが行われました。この頁は二十五周年記念行事を中心に報告します。

【式典】

さわやかな秋晴れに、白陵の輝かしい将来を思わせる式典当日、朝早くから続々と来賓の方々がつめかけられました。貝原兵庫県知事をはじめ高砂市長、姫路市長、地元国会議員の松本十郎先生、渡海紀三朗先生、その他各界から多数ご来臨賜り、誠に盛大に挙行されました。

これも白陵への期待と信望の厚さを物語っているといえましょう。ただ、誠

に残念なことに、二十五周年のメインイベントでもある講演会の講師・元内閣総理大臣・福田赳夫先生が「青年よ



出席できないとのことで、急遽福田先生は友人で元国務大臣の中山太郎先生をピンチヒッターとして講師にさしむけられました。中山太郎先生は、総理府総務長官並びに沖繩開発庁長官を歴任され、今も衆議院議員として広く活躍されており、ご母堂中山まささんは、女性初の厚生大臣、実弟中山正暉氏は現郵政大臣という政治一家として有名です。

志を世界にむけて」という題で講演演
して頂く予定でしたが、式典当日二、
三日前から体調を崩され、どうしても



講演で中山先生は、「国の歴史も変わっていく。そして世界の歴史も、今、大きく変わろうとしています。」さらに、技術革新はだんだん早くなり、「非常に早い時間で、人間の発想が実用化される時代がやって来た。」そして、その技術革新により、世界の距離は極端に短縮され、「世界はだんだん一つの村になって」、近い将来「二十一世紀には——世界は一つの村になる。」つまり、「これからやって来る時代は、国際化の時代——地球村の時代」だとお話され、「そういう時代が二十一世紀の

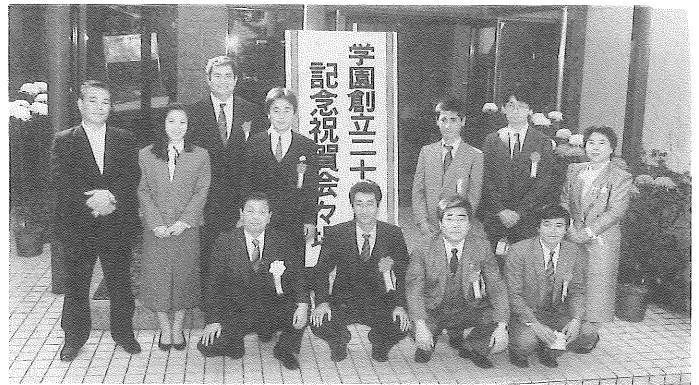


担い手であるみなさま方の前に待っている。」そういう時代に備えて、「今の学校で勉強していかなければならない」なぜなら、「日本人が国際人になって、国際的に通用する言葉で議論をし、演説できる日本人を一人でもたくさん育てていかないと、この国は世界の田舎になる」からだ、非常に力強く訴えられました。そして最後に、それぞれの国の「固有の文化と歴史を守りながら、国際社会に貢献する国際人としての日本人になっていただきたい」というのが、福田赳夫先生のみなさま

方への「熱い期待」であるということ、最後に申し上げて、私の今日のお話を終わらせていただきたいと思えます。」と結ばれました。

講演後には生徒から花束が贈られ、福田先生の「必ず近いうちに白陵を訪れたい」というメッセージを残して壇上を後にされました。

学園は二十五周年を記念して本館と別館の中間前方に位置する場所に管理棟校舎を新築する事になり、同窓会は記念に元白陵美術講師・甲本利一画伯の絵(八十万円)を寄贈致しました。

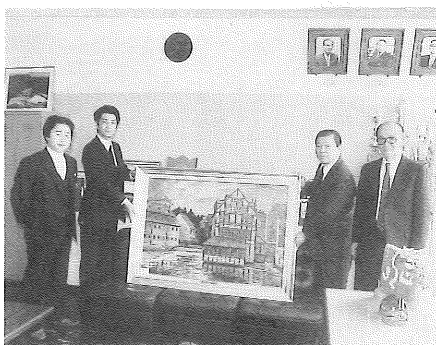


管理塔校舎

地鎮祭について

去る昭和六十三年二月五日、大安吉日の午前十一時より管理塔校舎新築地鎮祭が現場にて行われました。当日は学園(三木)理事長、(八木)学校長をはじめ学校代表者他、育友会会長、後援会会長、そして同窓会から黒川会長、吉田達哉理事が参列されました。

式典は、開会の辞に続き、神式によって行われ、祝詞奏上(いのち)の後、玉串奉奠(たまぐしほうだん)が行われ、無事建築が滞りなく進められることを祈願致しました。



《白陵のあゆみ》

年号 白陵沿革

昭和38

学校法人三木学園設立認可
白陵高等学校・白陵中学校

設置認可

仮校舎パイプハウス三棟(うち二棟は高砂市貸与分)竣工
第一回入学式挙行
運動場完成

本館(鉄筋三階建校舎)完成

39

別館及び寮建築完成

女子最多生徒数(62名)

開寮兼入寮式挙行

41

講堂兼体育館完成

42

第一寮建築完成

43

第二寮建築完成

44

学園道路完成

後援会より櫛を寄贈

45

46

47

白陵今昔物語

二十五周年に寄せて

天野泰文 (三期生)

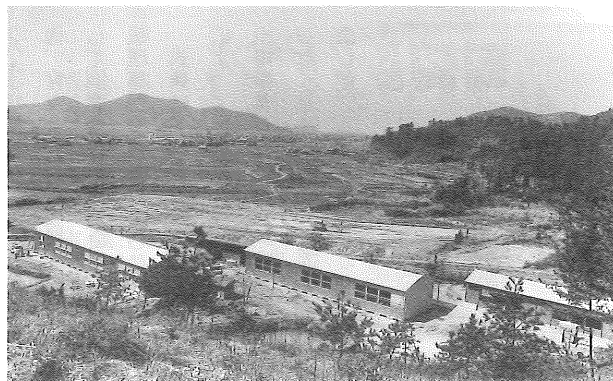
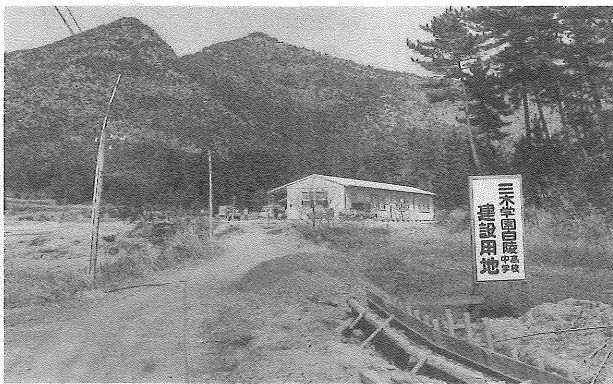
小さな校門をくぐったのは、たしか昭和四〇年だった。校舎までの細い道には、大急ぎで山から取って来て植え付けたように小さな木が並んでいた。左手には、グラウンドとは聞こえがいいが、単に土を盛った裸の地面が横たわっていた。入り口からの道がカーブを描き始めようとするところに造成地の現場事務所のようなプレハブがあり、後で一期生がそこで授業を受けたと聞かされた。そして坂を登ったところに山々に囲まれ無格好に白い校舎がポツリと建っていた。別館は建築中だった。工事中の騒音が教室の中に入り込み、授業中の雑談は比較的楽であったし、新築の校舎だったので、"休み時間"の居心地は非常に良かった。

「スパルタ教育」とか「英才教育」とか聞かされて入学した。しかし、「スパルタ」とカークダグラス主演の映画「スパルタカス」と混同して、カッコイイと思った程度の知識しか持ち合わせていなかった。「英才教育」が英語の才能を伸ばし、英会話がペラペラになる教育で、もしかしたら外人の美人教師が豊かなバストを揺らしながら、青い瞳でボクを見つめて、セクシーな声でレッスンしてくれるんだろうか。

なんて想像したりもしていた。

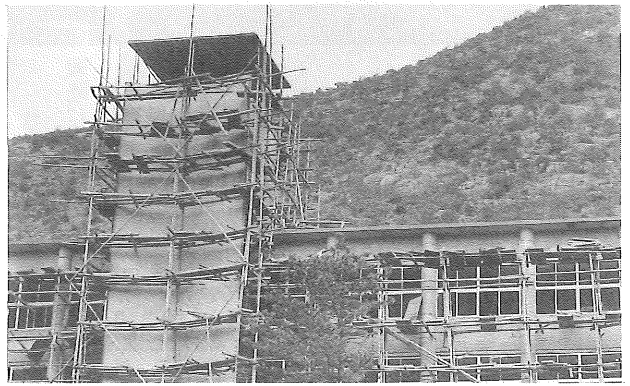
ところが現われたのは、目の釣り上がった首のない口の大きい人だった。外見はまだいい、この園長と呼ばれる人は、無闇に怒り矢鱈殴った。さらに悪いことには、この人は本学園を創設し、理事長という権力者であったため誰も止める人がいなかった。今まで学校の先生に、「ケンカはよさない」「人

をタイテはダメデスヨ」とやさしく教えられて来た「育ちの良い生徒」たちは、まさに明治維新か太平洋戦争敗戦後のようなカルチャーショックを身をもって体験した。否むしろ、旧帝国陸軍直営の時代錯誤の学園に投げ入れられコペルニクスの転回を強いられると言うべきであろうか。生徒たちは、学園長とその手下の「暴力教師」に殴



をタイテはダメデスヨ」とやさしく教えられて来た「育ちの良い生徒」たちは、まさに明治維新か太平洋戦争敗戦後のようなカルチャーショックを身をもって体験した。否むしろ、旧帝国陸軍直営の時代錯誤の学園に投げ入れられコペルニクスの転回を強いられると言うべきであろうか。生徒たちは、学園長とその手下の「暴力教師」に殴

62	61	60	59	58	57	56	55	54	53	52	51	50	49	48
創立25周年記念式典挙行	第四寮建築完成	故学園長胸像完成	中学入試競争率4.22倍で県下一位	学園長 三木省吾死去	創立20周年記念式典挙行 白陵会館建築完成			新館校舎完成 「そば一杯事件」	90分授業から70分授業へ 読売TV「ドキュメント'78」 で本校・放映	第三寮建築完成			武道館建築完成 第二運動場造成	創立10周年記念式典挙行

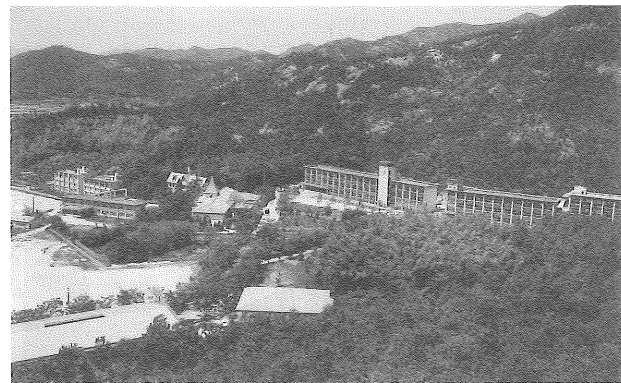


られるたびにスパルタ教育の意味を理解させられ、園長の非常にわかり易い英語の発音と、非常にわかり難いトマスハーディー教材の授業で、幼な心に宿した金髪美人の夢は無惨にも打ち砕かれたのであった。一期二期生には、このような校風に反発して、影で煙草や酒を呑んだり、殴られた仕返しに他校の生徒を殴ったりしていたらしい。しかし三期のボウズは全く去勢され、強迫観念に怯え、辞書をひいて単語帳を作るといった単純きわまりない仕事を黙々と続けたものだ。ネズミの学習実験ではエサの置いてある二つの通路の一方に電流を通しておくと、電気

ショックを繰り返し、最後にはネズミもその通路を行かなくなることを学習するという。白陵高校が年々大学合格率が向上して来たのは、まさにスパルタ教育の成果であろうか。

暫くすると、別館も完成し、寮も出来た。食堂も造られ、翌四一年には体育館も築造され、園長までが結婚してしまった。これで三木学園白陵高校中学の威容は一応整った。他校の伝統ある校舎、会館を見るにつけ、噴なまれば続けた劣等感から開放されたものだった。

園長の遠大な野望は、その後第二寮、武道館、第三寮、白陵会館と実現されていった。三木学園長は三三歳で本学園を創設し、矢次ぎ早に学校の施設を充実していった。一年として工事のなかつた年はないという。当時の園長の歳以上生きている今、「白陵」に対する思いは、校舎や体育館などの建物に対する郷愁ではない。あの若さで学園を創り、一流にした手腕、これも経済記事を読んでもいればよくある話である。なによりも迫力とバイタリティーと情熱を合わせもった園長という怪物との邂逅に尽きる。抜群の記憶力に支えられた博識と英知、それらを呑み込んで体内から放つ溢れんばかりの情熱、「烈しいパストを内に秘めよ」とよく聞かされたが、園長のパストの矢は、生徒の胸を貫いた。狂おしくまで生徒と学校を愛し、進歩して止まないことを夢想し続け、断固たる自己の信念を貫徹



した人生。社会人となり、日々生活に流され、時として自らの仕事にも投遺になるとき、園長の強烈な生きざまは、白陵での「教育」の最大の贈り物として、生きる一つの指針を教えてくれる様な気がする。

本館も食堂も古くはなつたが今もある。学園の木々も大きくなり、緑が学舎に映えるようになった。二五周年記念として教職員の管理棟が新たに建つという。しかし、これらのものはいつかは朽ちる。だが、白陵の「教育」は良きにつけ悪きにつけ頬の痛みと共に我々の心の中で色あせながらもいき続けるのではなからうか。

白陵軍団全員集合!!



姫路市役所白陵会です

昭和63年1月17日

我が会は昭和四九年頃、十数名で発足し現在三二名となっております。会長の年齢が三〇歳ということでもわかるように、会員全体の平均年齢が若いため、固苦しい雰囲気は全くなく、誰でも自分の思ったことをストレートに言えるような会です。

年間の活動としては、新入職員恐怖の歓迎会、暑さを忘れるビアパーティー、一年間のほこりを払う忘年会、新たな年を迎える新年会、皆自分がジャンボ尾崎と思いたく行うゴルフコンペ(有志)等催しも多く、会員相互の親睦に大きな役割を果たしています。

現在、永遠のライバル淳心会との交流の話が進んでいます。今後は、各地の白陵会と交流を図っていきたく思っておりますので、ご連絡をお待ちしております。

(連絡先) 0792-211-2711
水道局営業課・名倉まで

最後に、会員の氏名・期生・現所属を紹介いたします。

- | | |
|-------------------------------------|---|
| 名倉 正明 2 水道局営業課
(死ぬまで会長 公私共に快調) | 貞廣 始 9 人事課
(良縁求む!) |
| 浦上 学 3 都市整備公社
(まじめで律義) | 浮田 忠良 9 道路第一課
(子作りに励んでいます) |
| 坊 健 3 水道局
(幻しの先輩) | 黒川 優 10 秘書課
(最近パパになりました) |
| 福永 俊一 3 開発課
(夜の帝王(話題が豊富)) | 三木 隆道 11 人事課
(未来の鴨井令です) |
| 山本 敏 3 民生保護課
(通称ビンちゃんです) | 山田 堅一 11 国民健康保険課
(子持ちの暴走族です) |
| 久保 秀文 3 観光課
(歩く観光マップです) | 中山 統夫 11 大気騒音課
(家で双子の女の子が泣いています) |
| 渡辺 恵司 3 資産税課
(僧籍もあります) | 河江 一昭 11 資産税課
(好青年、趣味テニス) |
| 井神 暁 4 行政課
(春団治しか歌いません) | 堀 豪助 12 中央保健所
(野球部のスラッガー・職場はハレム) |
| 鎌田 芳寛 4 都市再開発課
(仕事の鬼です) | 三木 博雄 12 教育委員会総務課
(英語が得意です) |
| 浅田 和豊 5 百周年記念行事事務局
(はつきりいって紳士です) | 大谷 和正 13 中央保健所
(鹿児島で酒を極めました) |
| 橋本 義仁 5 区整第三課
(往年の柔道一直線(寝ワザが得意)) | 幹事 和田 達也 岡1 納税課
(入庁した時に部長と間違われた人間です) |
| 塩崎 育男 5 自治振興課
(サッカーの先生です) | 現田 誠 15 市民課
(ウインナイスガイ・ウイン顔がデカイ) |
| 北口 勝博 5 福祉課
(パパさんソフトの花形です) | 幹事 福永 安洋 15 民生保護課
(何を考えているかわからん) |
| 井上 博雅 5 市民文化課
(私が姫路の祭りをつくっています) | 谷口 泰司 16 資産税課
(軽音楽部を創りました) |
| 三木 宏一 6 納税課
(まじめです) | 富士原正徳 18 耕地林務課
(新人類登場!!) |
| 大崎 章快 6 美化部業務課
(もうすぐ五人目ができるかな) | |
| 中澤 賢悟 9 公衆衛生課
(牛飲馬食大声です) | |

次回の特集は、姫路青年会議所 (J) 内白陵会の予定です。

昭和62年度 大学入試合格者数

東大15,京大28,早・慶・上智大43,国公立大医学部27

—— 堂々兵庫県下第3位の実績 ——

国 公 立 大 学				
大 学 名	59年	60年	61年	62年
東 京 大	11	12	8	15
京 都 大	23	23	22	28
一 橋 大	1		2	3
大 阪 大	8	12	10	10
北 海 道 大	4	3	3	12
東 北 大	2	3	3	17
東 京 外 大	2	1	1	1
筑 波 大	1			4
名 古 屋 大	3		2	3
九 州 大	1	2	1	4
神 戸 大	14	17	21	22
岡 山 大	5	2	2	2
広 島 大	1	6	5	16
防 衛 医 大	3	7	3	6
大 阪 市 大	3	4	5	8
そ の 他	51	35	37	51
合 格 者 計	133	127	125	202
(内医学部)	(17)	(20)	(17)	(27)
対卒業生国公立大合格率	98.5%	76.0%	79.7%	120%

私 立 大 学				
大 学 名	59年	60年	61年	62年
早 稲 田 大	39	27	25	12
慶 応 大	19	19	20	21
上 智 大	7	4	4	10
中 央 大	6	3	4	1
東 京 理 大	3	4	10	7
明 治 大	1	1	2	
津 田 塾 大	1		1	
国 際 基 督 教 大	1			1
関 西 学 院 大	28	27	22	22
関 西 大	7	11	15	12
同 志 社 大	27	32	24	13
立 命 館 大	4	5	3	8
大 阪 医 大	1	4	3	3
関 西 医 大	1	1	2	2
兵 庫 医 大	1	3	2	2
大 阪 歯 大		1	6	1
そ の 他	27	30	30	21
合 格 者 計	173	172	173	136
(内医学部)	(3)	(10)	(10)	(9)

白陵会名簿完成す

名簿作成委員長 森 本 勝 行

季節の移り変わりも早く日々春めてまいりましたが、会員各位に於かれましては、御健勝のこととお慶び申し上げます。昨年末、会員各位には、

名簿発刊の為、何かと御手数をおかけ致しましたことを、深く感謝し御礼申し上げます。又、広告に際しまして、本当にありがとうございます。心より、御礼申し上げます。又、名簿発刊が当初の予定より、四ヶ月遅延になりましたことを、深くお詫び申し上げます。

当初、六一年十二月発刊予定で、作業を進めてまいりましたが、不明分が多数に達し、十二月に再度調査の葉書を発送し、再調査を行いました結果八〇%の返信があり、六二年一月に印刷に入ったのであります。

その後、同年三月完成をみたのですが、数期の学年に關して、ミスプリントが発見され、理事会に於いて検討いたしました結果、作り変えやむなしの結論に達しました。

翌四月には、其の後の住所変更を含

めて、発刊の運びとなり、会員住所の八五%を、確認することが出来ました。

これも、会員の皆様方の、御協力のおかげでございます。

調査不足の為、不明者が出た期もありません。御存知の方は御手数ですが、学校宛にお知らせ下さい。

又最近、住所表示変更が、多くなっている為、転居だけでなく、新しい住所表示もお知らせ願えれば幸いです。

名簿を手にする事によって、恩師や旧友の顔、又母校の想いが浮かんできて、懐かしさもひとしおではないかと思えます。

この名簿が、会員諸氏の相互の連帯感を、一層深めることを期待してやみません。

今回の名簿発刊に際しまして、御協力下さいました会員諸氏、諸先生方、並びに学校関係者の方々には、紙上をお借りして、厚く御礼申し上げます。

次回の名簿発刊の際にも、御協力程、よろしく御願ひ申し上げます。

白陵会ニュース

★躍進する白陵、東大・京大合格者県下第三位

六十二年度(昨春)の大学入試では東大十五名・京大二十八名、国立大計二〇二名という輝かしい成績をあげている。なかでも東大及び京大の合格者は、灘・甲陽に次ぎ四年連続兵庫県下第三位の成績で、有数の進学校としての白陵の名は全国にとどろいている。

現在、六十三年度入試戦線もたけなわとなっているが、今年度も後輩諸君の活躍が期待されている。

★全国から俊英集まる

——六十二年度 高校・中学入試状況——

六十二年春に行われた高校・中学の入試では、兵庫県南部地域を中心に県外からも多数の志願者が集まった。六十二年の入試状況は、高校が募集八〇名に対し二六二名の志願があり、競争率二・〇倍、中学が募集一〇五人に対し三六七人の志願で競争率三・五倍となっている。

★教員異動

長らくお世話になった恩師の方々が何人が学園をお辞めになっている。なかでも、加藤光明先生は昭和五十一年四月から物理の教鞭をとられ、優しい人柄で慕われていたが、昭和六十二年三月に退職されている。また、私達に生きた英語を教えて下さったT・マッキントッシュ先生も学園を後にされている。

また、同窓生の中から新たに、中村大吾先生(12回生)と岡野清和先生(17回生)が母校の教壇に立つて後輩の指導にあたっている。

★白陵会役員交替

昭和六十一年七月以降、新たに卒業した21回生からは河合恵介君を、22回生からは新田智弘君を常任幹事に迎えた。また、15回生は都合により、片山一男君が退任し、町田直隆君が常任幹事に就任した。

★白陵会からのお願い

住所を変更された場合は必ず事務局までお知らせ下さい。会報等の郵便物が配達できなくなりますので、よろしくお願いたします。

白陵会役員名簿

副会長	理事	会計監査	書記	校内幹事
森川 裕	天川 名	神名 貞	吉倉 貞	加藤 吉
本川 田	副田 野	義達 義	藤本 田	藤村 藤
川 裕	田 裕	裕 泰	廣 吉	本 田
1	1	1	1	1

白陵会収支計算書 昭和61年4月1日～昭和62年9月30日

(単位円)

収 入		支 出	
科 目	金 額	科 目	金 額
会 費	1,680,000	会 議 費	524,881
受取利息配当金	3,114	慶 弔 費	22,740
名簿収入	3,420,000	消耗品費	16,430
広告料	1,937,000	通信運搬費	390,785
寄付金	30,000	印刷費	6,121,000
		雑 費	32,320
		支払手数料	57,700
前期繰越	4,669,883	後期繰越	4,574,141
合 計	11,739,997	合 計	11,739,997

編 集 後 記

前回の会報発行からずい分と日がたちました。私たちが広報委員も長い冬眠からさめ、やっと会報を発行することができました。今回は、学園創立25周年を特集しましたが、学園もいよいよ25周年を経て、次の時代へ歩き始めました。また、今回から新しい企画として職域とか地域での同窓会活動を紹介していきたいと思っております。「白陵軍団全員集合!!」のページに登場したい会がありましたらご連絡をお待ちしております。特集記事だけでなく、この会報をますます充実していくため、皆さんの投稿をお待ちしておりますので、ご協力をお願いします。よろしく。